

山剣連第 2 2 5 号

令和 3 年 1 2 月 9 日

各地区剣道連盟会長 殿

(一財) 山口県剣道連盟

会長 中 西 章

[公印省略]

令和 4 年度「全日本都道府県対抗剣道優勝大会(男・女)」
選手選考会の実施について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当剣連に対して格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、みだし選手選考会を別添要項のとおり実施しますので、多数の方々が参加
されますようご案内するとともに会員の皆様に対し出場勧奨をお願い申し上げま
す。

なお、**選手選考会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、無観客**と
しますので徹底をお願いいたします。

[第 70 回全日本都道府県対抗剣道優勝大会](男子)

1 開催予定日

令和 4 年 4 月 2 9 日(金・祝) ※ 2 8 日(木)出発、2 9 日(金・祝)帰県予定

2 開催予定場所

大阪府大阪市

[第 14 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会]

1 開催予定日

令和 4 年 7 月 1 0 日(日) ※ 9 日(土)出発、1 0 日(日)帰県予定

2 開催予定場所

東京都千代田区

別添 1

「第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」出場予選会実施要項

1 開催日時

令和4年2月12日(土) 9時30分(開会式)

※受付時間 8時40分から9時10分の間

2 開催場所

維新百年記念公園維新大晃アリーナ「レクチャールーム」

3 主催

一般財団法人山口県剣道連盟

4 出場資格

(1) 山口県剣道連盟の登録会員であり、全日本剣道連盟会員規則に適合する男子

(2) 選手区分

① 先鋒 高校生 ※高体連の推薦により決定

② 次鋒 大学生

③ 5将 18歳以上35歳未満(高校生、大学生、警察職員、教職員を除く)

④ 中堅 教職員の者(年齢制限なし)

⑤ 3将 警察職員の者(年齢制限なし)

⑥ 副将 35歳以上の者(警察職員、教職員を除く)

⑦ 大将 50歳以上で剣道教士七段以上の者

(3) 年齢基準は、本大会前日(令和4年4月28日)とする。

(4) 職業資格・高校生及び大学生の基準日は、本大会当日(令和4年4月29日)とする。

(5) 各都道府県で実施される選考会への出場は、一カ所のみとする。ただし、大学生が予選会へ出場できる都道府県は、大学生個人が登録している剣道連盟又は出身高校のある剣道連盟(登録が必要)のいずれか一カ所とする。

5 試合の組合せ

当剣道連盟事業委員会で決定する。

6 試合方法及び選手選出方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則・同細則、同運営要領、新型コロナウイルス

ス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法並びに本大会実施要項による。

(2) 試合方式は、出場選手数を勘案し、リーグ戦又はトーナメント戦とし、第1位、第2位、第3位(3位決定戦を実施)を決定する。

(3) 試合は3本勝負とし、試合時間は、リーグ戦による場合は4分、トーナメント戦は5分とする。

前記トーナメント戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、3分1本勝負による延長戦を勝負の決するまで行う。

また、リーグ戦方式において、リーグの全試合が終了した時点において、勝ち数、取得本数が同数で勝者を決定する必要がある場合は、3分1本勝負による延長戦を勝負が決するまで行う。

ただし、トーナメント戦、リーグ戦とも延長戦において、延長戦3回を過ぎても勝敗が決しない場合は、延長戦3回ごとに5分の休憩を取ることとする。

(4) 前記選手区分毎に試合を行い、第1位を正選手、第2位を補欠要員とする。

なお、先鋒の高校生については、山口県高等学校体育連盟からの第1推薦を正選手、第2推薦を補欠要員とする。

7 剣道用具の取り扱い

参加選手は、「別記 剣道用具の規定」の基準に従った剣道用具を使用すること。

当日、竹刀検量を行うが、試合前には、竹刀の再点検を確実にを行い、破損等で安全性が保てないものは使用しないこと。

8 表彰

出場区分毎に第1位、第2位を表彰する。

9 参加申込み

(1) 予選会出場の申込みは、別紙「予選会申込書」及び「参加料」(1,000円)を添えて各地区剣道連盟事務担当者に提出してください。

(2) 各地区剣道連盟は、予選会申込書、参加料等を取りまとめ1月31日(月)までに県剣道連盟事務局に送付(FAX、メール可)してください。

参加料は、郵便振替で送金してください。(期限を厳守して下さい。)

口座番号 01550-3-3820

加入者名 (一財)山口県剣道連盟

10 安全対策

(1) 新型コロナウイルス対策

① 選手は、主催大会実施にあたってのガイドラインに従い鼻と口を確実に覆う面マスク及び口元を覆うシールドを着用すること。

② 参加選手は、「別紙 参加者チェック表」（県剣連ホームページの様式集に掲載をダウンロードしてください。）に氏名、住所、電話番号、参加当日測定した体温等の必要事項を記載、確認事項のチェックを行い、受付時に提出すること。なお、「参加見合わせ事項」に該当する場合は、参加を見合わせる。また、**選考会開催日前の2週間は、新型コロナウイルスの感染拡大地域への旅行等を控えていただきますようお願いいたします。**

(2) 一般的安全対策

参加者は、各自十分健康管理に留意して本大会に出場してください。

主催者においては試合中に傷害等が発生した場合は応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は個人負担とする。

なお、主催者は本大会の出場者に対し傷害保険に加入（本大会会場への往復途上は含まない。）する。※入院：日額5,000円 通院：日額3,000円

(3) 参加者は健康保険証を持参のこと。

11 個人情報保護法の対応

申込書に記載される個人情報は、山口県剣道連盟が実施する本大会の運営及びホームページへの掲載、報道に対する試合結果の提報等のため利用する。

12 ビデオ撮影等について

別添3参照

別添 2

「第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」出場予選会実施要項

1 開催日時

令和4年2月12日(土) 9時30分(開会式)

※受付時間 8時40分から9時10分の間

2 開催場所

維新百年記念公園維新大晃アリーナ「レクチャールーム」

3 主催

一般財団法人山口県剣道連盟

4 出場選手資格

(1) 山口県剣道連盟の登録会員であり、全日本剣道連盟会員規則に適合する女子

(2) 選手区分

① 先鋒 高校生 ※高体連の推薦により決定

② 次鋒 大学生

③ 5将 18歳以上29歳未満(高校生、大学生は除く)

④ 中堅、⑤ 3将 30歳以上40歳未満 ※2名を決定

⑥ 副将 40歳以上

⑦ 大将 50歳以上

(3) 年齢基準は、本大会前日(令和4年7月9日)とする。

(4) 高校生及び大学生の資格基準は、本大会当日(令和4年7月10日)とする。

(5) 各都道府県で実施される予選会への出場は、一カ所のみとする。ただし、大学生が予選会へ出場できる都道府県は、大学生個人が登録している剣道連盟または出身高校のある剣道連盟(登録が必要)のいずれか一カ所とする。

5 試合の組合せ

当剣道連盟事業委員会で決定する。

6 試合方法及び選手選出方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則・同細則、同運営要領、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法並びに本大会実施要項による。

(2) 試合方式は、出場選手数を勘案し、リーグ戦又はトーナメント戦とし、第1位、第2位、第3位(3位決定戦を実施)を決定する。

(3) 試合は3本勝負とし、試合時間は、リーグ戦による場合は4分、トーナメント戦は5分とする。

前記トーナメント戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、3分1本勝負による延長戦を勝負の決するまで行う。

また、リーグ戦方式において、リーグの全試合が終了した時点において、勝ち数、取得本数が同数で勝者を決定する必要がある場合は、3分1本勝負による延長戦を勝負の決するまで行う。

ただし、トーナメント戦、リーグ戦とも延長戦において、延長戦3回を過ぎても勝敗が決しない場合は、延長戦3回ごとに5分の休憩を取ることとする。

(4) 前記選手区分の次鋒、5将、副将、大将の部は、第1位を正選手、第2位を補欠要員とし、中堅、3将の部は同一の区分とし、第1位を中堅の正選手、第2位を3将の正選手、第3位を中堅・3将の補欠要員とする。

なお、先鋒の高校生については、山口県高等学校体育連盟からの第1推薦を正選手、第2推薦を補欠要員とする。

7 剣道用具の取り扱い

参加選手は、「別記 剣道用具の規定」の基準に従った剣道用具を使用すること。

当日、竹刀検量を行うが、試合前には、竹刀の再点検を確実にを行い、破損等で安全性が保てないものは使用しないこと。

8 表彰

出場区分の次鋒、5将、副将、大将は、第1位、第2位を表彰し、中堅・3将の区分は、第1位から第3位までを表彰する。

9 参加申込み

(1) 予選会出場の申込みは、別紙「予選会申込書」及び「参加料」(1,000円)を添えて各地区剣道連盟に提出してください。

(2) 各地区剣道連盟は、予選会申込書、参加料等を取りまとめ1月31日(月)までに県剣連盟事務局に送付(FAX、メール可)してください。

参加料は、郵便振替で送金してください。(期限を厳守して下さい。)

口座番号 01550-3-3820

加入者名 (一財)山口県剣道連盟

10 安全対策

(1) 新型コロナウイルス対策

① 選手は、主催大会実施にあたってのガイドラインに従い鼻と口を確実に覆う面マスク及び口元を覆うシールドを着用すること。

- ② 参加選手は、「別紙 参加者チェック表」（県剣連ホームページの様式集に掲載をダウンロードしてください。）に氏名、住所、電話番号、参加当日測定した体温等の必要事項を記載、確認事項のチェックを行い、受付時に提出すること。なお、「参加見合わせ事項」に該当する場合は、参加を見合わせる。また、**選考会開催日前の2週間は、新型コロナウイルスの感染拡大地域への旅行等を控えていただきますようお願いいたします。**

(2) 一般的安全対策

参加者は、各自十分健康管理に留意して本大会に出場してください。

主催者においては試合中に傷害等が発生した場合は応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は個人負担とする。

なお、主催者は本大会の出場者に対し傷害保険に加入（本大会会場への往復途上は含まない。）する。※入院：日額5,000円 通院：日額3,000円

(3) 参加者は健康保険証を持参のこと。

11 個人情報保護法の対応

申込書に記載される個人情報は、山口県剣道連盟が実施する本大会の運営及びホームページへの掲載、報道に対する試合結果の提報等のため利用する。

12 ビデオ撮影等について

別添3参照

別記 剣道用具の規定

出場選手は、剣道用具について、下記事項を厳守すること。

1 竹刀の長さ、重さ、太さについては、下記「表1」、「表2」のとおり

表1 竹刀の基準（一刀の場合）

	対 象	中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般	
		長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下
重さ	男 性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上	
	女 性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上	
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 竹刀の基準（二刀の場合）

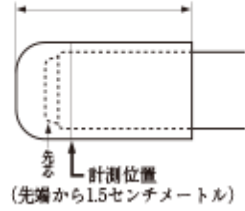
	対 象	大学生・一般		
		大 刀	小 刀	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下	
重さ	男 性	440グラム以上	280～300グラム	
	女 性	400グラム以上	250～280グラム	
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

※ ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものは使用不可

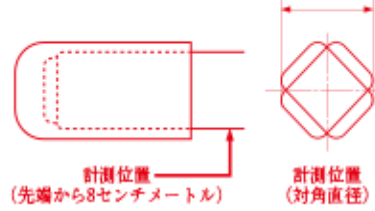
2 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとうの直径値の測定方法(下図参照)

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



3 面について

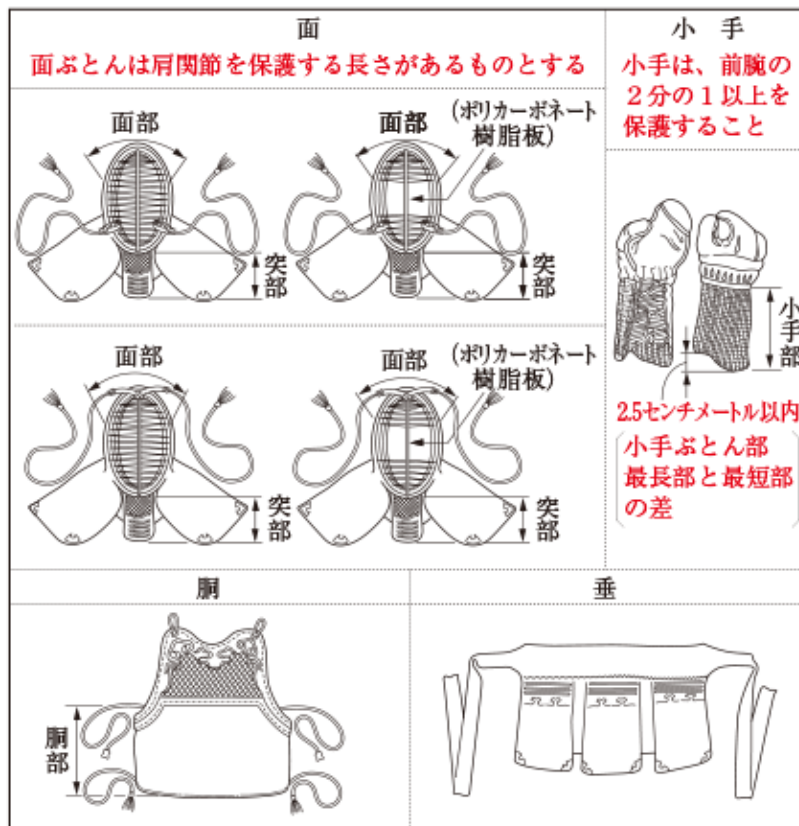
面ぶとんは、安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。(下記 第3図参照)

4 小手について

小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の2分の1以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があること。

小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5センチメートル以内とする。(下記 第3図参照)

第3図 剣道具および打突部位



※面ぶとん、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

5 剣道着について

剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保したものとす
る。

(構えたときに肘関節が隠れること。)

別添 3

[ビデオ撮影等について]

県剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取り扱いについては次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- (1) 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数のものに公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、県剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- (2) 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- (3) 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償に関わらずこれを不特定多数のものに配付したり、またはインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散したりしないこと。ただし、県剣連から許諾を受けて行う場合はこの限りではない。

「全日本都道府県対抗剣道優勝大会」(男子)予選会申込書

出場区分	1 (次鋒)	2 (五将)	3 (中堅)	4 (三将)	5 (副将)	6 (大将)
称号・段位						
氏名			生年月日	S・H (令和4年4月28日を基準) 年 月 日(歳)		
住所	〒		TEL	- -		
	住所					
職業	(令和4年4月29日を基準)					
所属地区剣連						
備考	○ 出場区分の数字を○で囲んで下さい。					

「全日本都道府県対抗剣道優勝大会」(男子)予選会申込書

出場区分	1 (次鋒)	2 (五将)	3 (中堅)	4 (三将)	5 (副将)	6 (大将)
称号・段位						
氏名			生年月日	S・H (令和4年4月28日を基準) 年 月 日(歳)		
住所	〒		TEL	- -		
	住所					
職業	(令和4年4月29日を基準)					
所属地区剣連						
備考	○ 出場区分の数字を○で囲んで下さい。					

「全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」予選会申込書

出場区分	1 (次鋒)	2 (五将)	3 (中堅・三将)	4 (副将)	5 (大将)
称号・段位					
氏名			生年月日	S・H (令和4年7月9日を基準) 年 月 日(歳)	
住所	〒		TEL	- -	
	住所				
職業	(令和4年7月10日を基準)				
所属地区剣連					
備考	○ 出場区分の数字を○で囲んで下さい。				

「全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」予選会申込書

出場区分	1 (次鋒)	2 (五将)	3 (中堅・三将)	4 (副将)	5 (大将)
称号・段位					
氏名			生年月日	S・H (令和4年7月9日を基準) 年 月 日(歳)	
住所	〒		TEL	- -	
	住所				
職業	(令和4年7月10日を基準)				
所属地区剣連					
備考	○ 出場区分の数字を○で囲んで下さい。				